

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コミュニケーション論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学期及び曜時限	前期	教室名	903教室
担 当 教 員	川原田進				
実務経験とその関連資格	鍼灸師・トレーナーとしてクリニックで勤務(8年)。その後、理学療法士として晴風園今井病院に勤務し、医療・療養型病棟(1年)、回復期リハビリテーション病棟(6年)に従事する。整形外科疾患や脳血管疾患を中心に数多くの症例のリハビリテーションを経験した。3学会呼吸療法認定士・福祉住環境コーディネーター2級所持。 また大学院では運動生理学教室に所属し運動パフォーマンスと疲労について研究を進め学会でも発表している。健康学修士。				
《授業科目における学習内容》					
GIO①:コミュニケーションを学ぶ課程で、自ら学び、学びあうことを習得する。 GIO②:これができるようになることで自己肯定感、自己信頼を身につけ、理学療法士に必要な自律性・実行力・行動力を身につける。					
《成績評価の方法と基準》					
各回授業終了後にワークブックを提出。提出状況、記載内容にて成績評価を行う。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
めきめき本物の国語力が身につくコミュニケーション技法(一般社団法人 キャリア教育総合研究所) めきめき本物の国語力が身につくコミュニケーション技法ワークブック(一般社団法人 キャリア教育総合研究所)					
《授業外における学習方法》					
次回授業までの予習として、教科書該当ページを読み、事前学習シートを記載する。					
《履修に当たっての留意点》					
1つのコマの中の学習手順は①事前学習 ②演習(ワーク) ③グループ討論 ④振り返りになります。 3つの約束を守り、理学療法士に必要なコミュニケーション技法を身につけましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	はじめに:コミュニケーション技法を学ぶ目的・目標を述べるができる。3つの約束、学習手順を述べるができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P8~10を読み、事前学習シートを記載する。	
	各コマにおける授業予定	「伝達」ゲーム			
第2回	授業を通じての到達目標	学習の仕方:ブレインストーミング、KJ法を行うことができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P12~15を読み、事前学習シートを記載する。	
	各コマにおける授業予定	ブレインストーミング法、KJ法			
第3回	授業を通じての到達目標	聞き上手の技法:向き合う、受け入れる、確認することができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P16~21を読み、事前学習シートを記載する。	
	各コマにおける授業予定	「聞き上手」ゲーム			
第4回	授業を通じての到達目標	話し上手の技法:絞る、合わせる、傾けることができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P22~26を読み、事前学習シートを記載する。	
	各コマにおける授業予定	「話し上手」ゲーム			
第5回	授業を通じての到達目標	説得上手の技法:具体的に決める、傾聴する、シンプルに話すことができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P28~30を読み、事前学習シートを記載する。	
	各コマにおける授業予定	「売り込み」ゲーム			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	読み上手の技法:とばし読み+マーキング、拾い読み+KJ法、読み直し+感想まとめの方法を実践できる。	上記教科書 ワークブック	
	各コマにおける授業予定	「読み上手」コンテスト:感想のまとめ		
第7回	授業を通じての到達目標	読み上手の技法:書いた感想を発表できる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P31~33を読み、事前学習シートを記載する。
	各コマにおける授業予定	「読み上手」コンテスト:グループ学習		
第8回	授業を通じての到達目標	書き上手の技法Ⅰ:テーマ探しの技法:仮テーマ、KJ法メモ、本テーマに則り、自分らしい自己紹介ができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P34~38を読み、事前学習シートを記載する。
	各コマにおける授業予定	自己PR大会		
第9回	授業を通じての到達目標	書き上手の技法Ⅱ:ブラインドワークを実施し、経験を描写できる。	上記教科書 ワークブック	
	各コマにおける授業予定	ブラインドワーク:実施		
第10回	授業を通じての到達目標	書き上手の技法Ⅱ:見たことと感じたことを分けて描写できる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P40~43を読み、事前学習シートを記載する。
	各コマにおける授業予定	ブラインドワーク:描写		
第11回	授業を通じての到達目標	自己理解・他者理解・自己信頼:自分史年表を作成し、自己を振り返ることができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:自分史年表の準備
	各コマにおける授業予定	自分らしさ探し:自分史年表作成		
第12回	授業を通じての到達目標	自己理解・他者理解・自己信頼:自分史年表を元に、自分自身と対話できる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P44~45を読み、事前学習シートを記載する。
	各コマにおける授業予定	自分らしさ探し:自分史年表作成・グループ学習		
第13回	授業を通じての到達目標	インタビューの技法:聞き上手の技法と書き上手の技法を使って、聞いたことを文章にまとめることができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P46~50を読み、事前学習シートを記載する。
	各コマにおける授業予定	「インタビュー」ゲーム		
第14回	授業を通じての到達目標	ジョハリの窓:フィードバックと自己開示を通して、自分も他人も受け入れることができる。	上記教科書 ワークブック	次回までの予習:教科書P52~53を読み、事前学習シートを記載する。
	各コマにおける授業予定	人間関係を深める技法:「私」と「わたし」		
第15回	授業を通じての到達目標	おわりに:コミュニケーション技法を通じて気づき学んだことを表出できる。	上記教科書 ワークブック	
	各コマにおける授業予定	何年後かの「自分」へ		